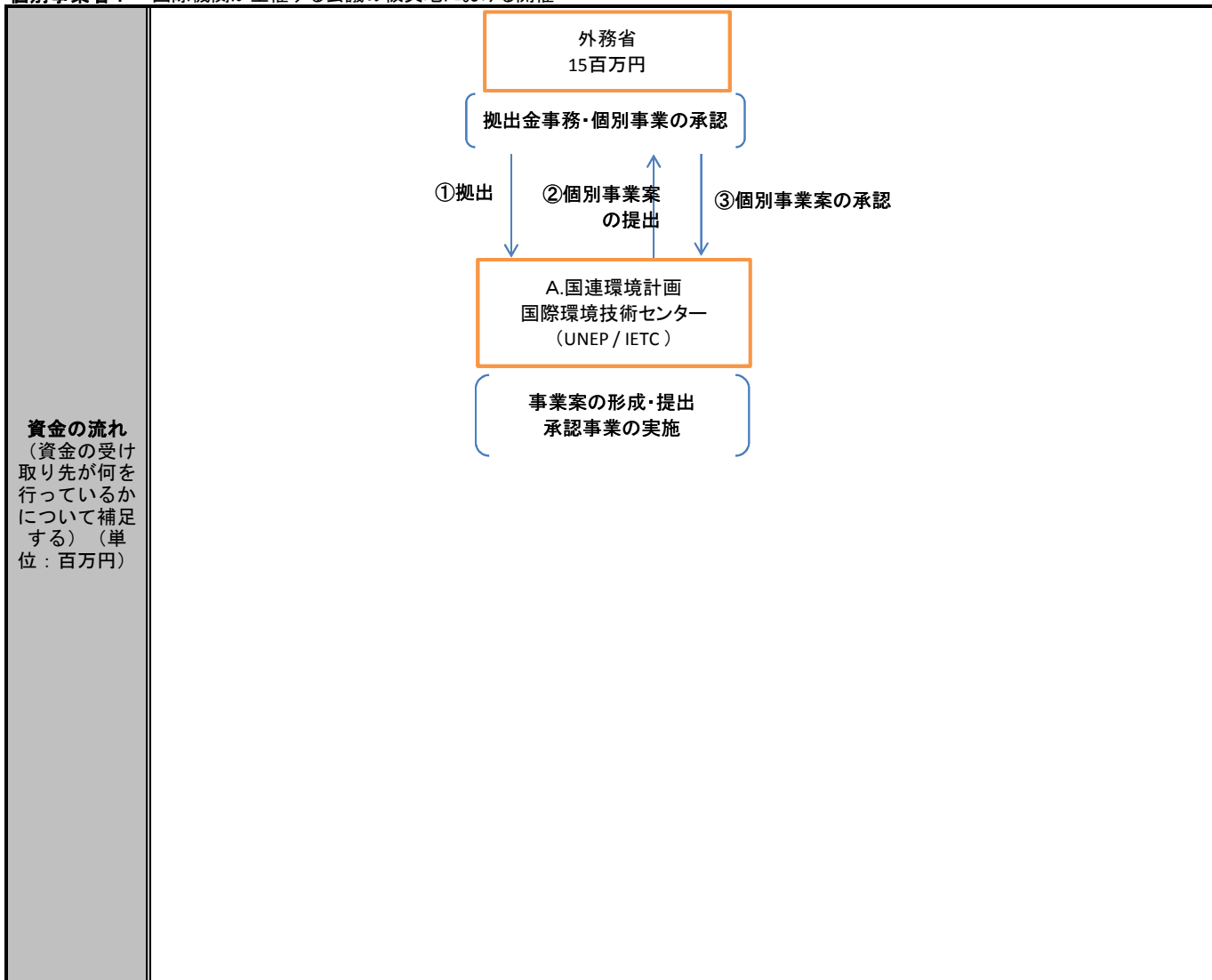


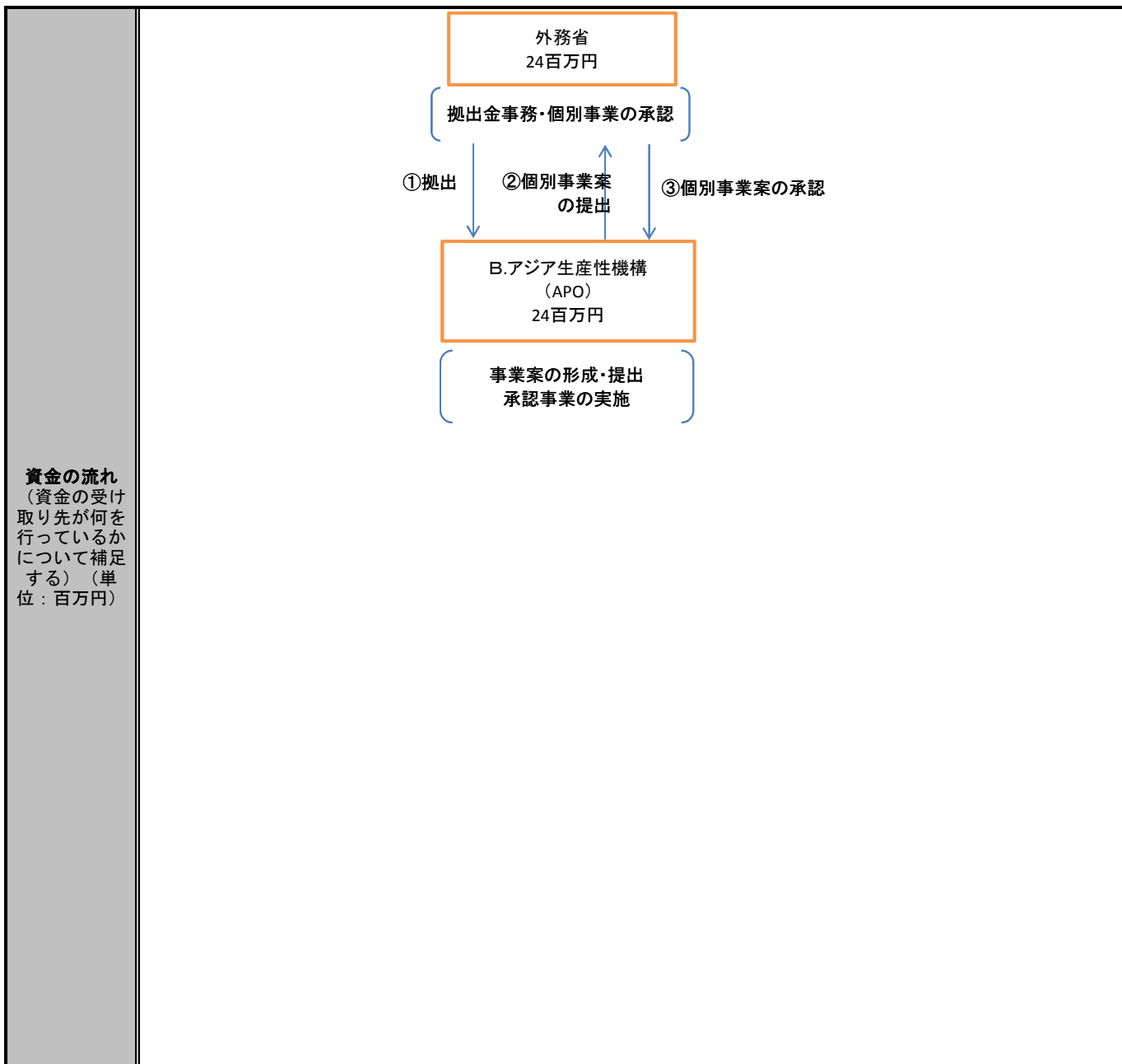
平成24年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	国際機関が主催する会議の被災地における開催			担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度	平成23年度			担当課室	地球規模課題総括課 地球環境課 国別開発協力第1課		課長 飯田 慎一 課長 杉中 淳 課長 横山 正		
会計区分	一般会計			施策名	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	「東日本大震災からの復興の基本方針」大震災の教訓を踏まえた国づくり(P23(4)③(iii))				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後の復興に資する専門的知見を有する国際機関の専門家等を交えた会議を被災地で開催し、その知見や世界各国における自然災害による被災後の復興プロセスにおける国際協力事例を被災地の復興担当者に伝達し、被災地の復興の促進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際機関の専門家を招聘して被災地の被災自治体等を対象とする、復興等に係るセミナー(公開ワークショップ、研修)を実施する。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—			
		補正予算	—	—	74	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	—	—	—		
	執行額		—	—	74				
執行率(%)		—	—	100					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	会議の参加者数			成果実績	人	—	—	956	820
				達成度	%	—	—	116.6	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	会議の開催数			活動実績 (当初見込み)	回	— (—)	— (—)	5 (5)	— (—)
単位当たり コスト				14,843 (円/回)			算出根拠	単位あたりコスト=執行額 74,215千円/会議の開催数 5回	
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
		—	—						
	計	—	—						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	復旧から復興へと徐々に移行する現在の被災地にとって喫緊の課題である、地域復興、都市復興、廃棄物処理について、国際機関の有する知見を被災地に提供するものであり、優先度は高い。また、APOのセミナーは日本産農産品の輸出市場でもあるアジア各国の農業行政関係者を対象として、我が国の農産物の生産管理手法の有効性のアピール等をテーマとしており、風評被害対策として優先度が高い。いずれも国際機関を活用するものであることから、国が実施することが適当。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きき場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	セミナー等の開催に関しては、現地の状況等も勘案し、必要最小限の開催規模となるよう企画。今次の震災に際し、復興プロセスの初期というタイミングで国際的知見を集約して被災地に提供する単発の1回限りの事業であり、類似事業はないため、貢献度は大きいと考える。主に国は費用負担、国際機関は知見のインプットを担当し、自治体はセミナー等を受講する(受益者)ため、役割分担は明確。セミナー等の開催にかかるもののみ精査して拠出。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	早期復興、継続的な防災、復興の取組をテーマとし、かつ、国際機関を活用することで国際的な知見の伝達を受けることができるため、手法として効果的。国際社会の知見の活用であり、国内機関が行う類似事業等とは重複のないものとなっている。なお、国際機関を通して復興への取り組みをアピールすることにも貢献できる。成果目標・活動指標を達成。会議の開催後、国際機関において報告が行われ、HPIにも掲載される。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は、被災地の自治体職員やコミュニティ代表者などの自治体関係者等と連携し、復旧から復興へと移行していくタイミングで必要最小規模で実施するなど、資金の有効な活用に努めており、適切に事業が執行されていることから、特段の問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		－	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

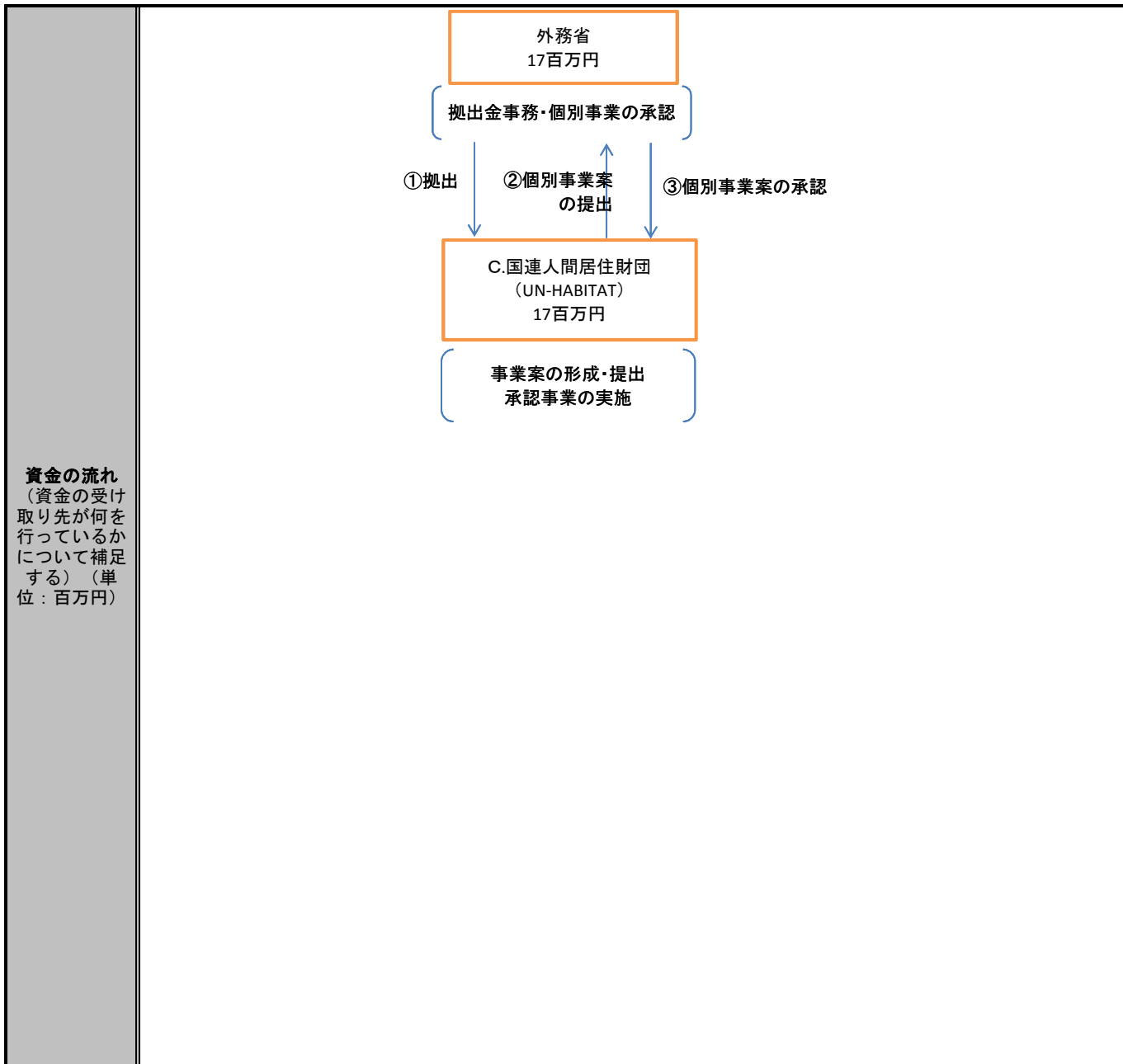
個別事業名： 国際機関が主催する会議の被災地における開催



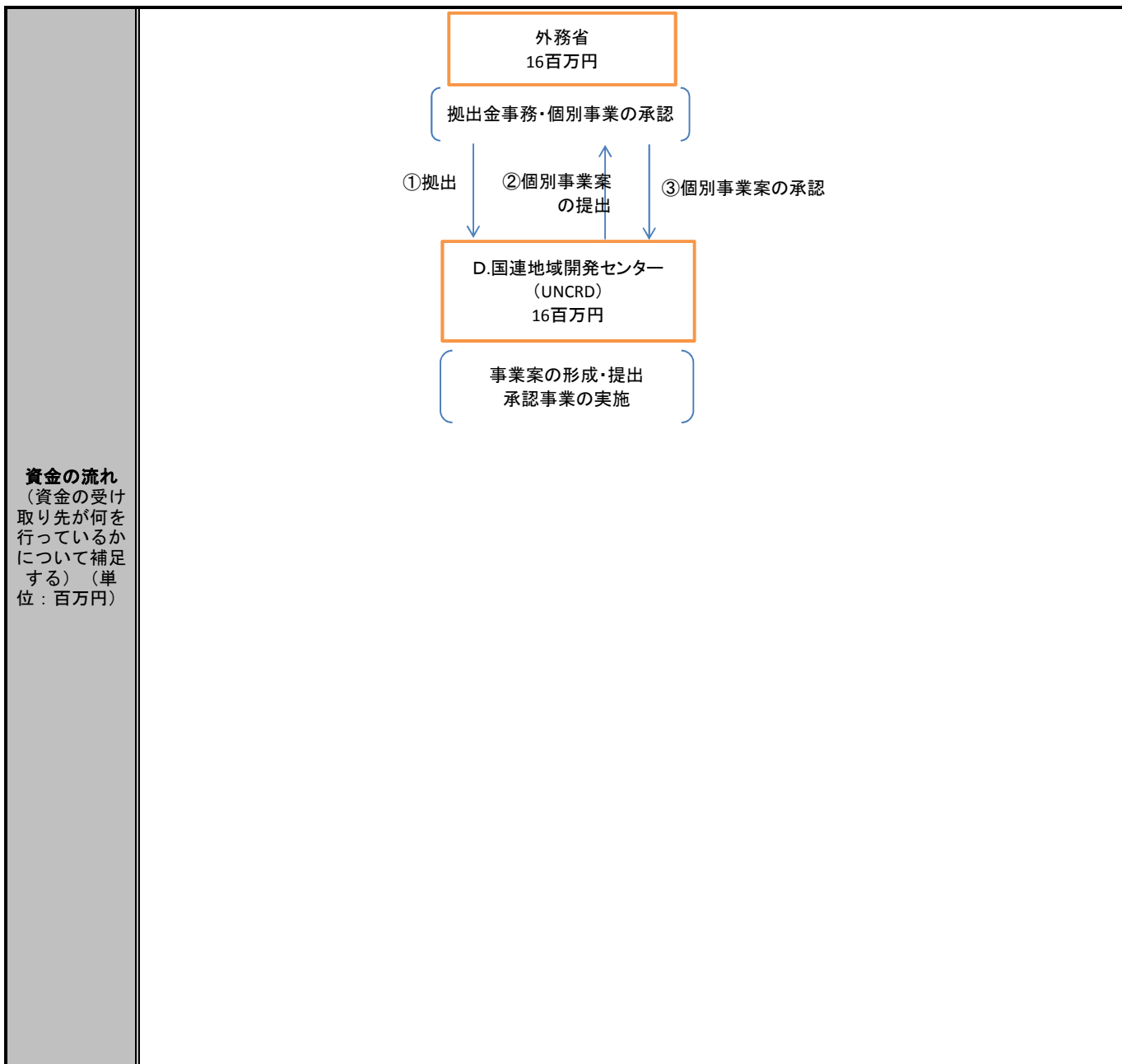
個別事業名： 国際機関が主催する会議の被災地における開催



個別事業名： 国際機関が主催する会議の被災地における開催



個別事業名： 国際機関が主催する会議の被災地における開催



個別事業名： 国際機関が主催する会議の被災地における開催

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A. UNEP/IETC					
	費 目	使 途	金 額	費 目	使 途	金 額
	会議費	国際会議等の開催	15			
	計		15	計		0
	B. APO					
	費 目	使 途	金 額	費 目	使 途	金 額
	会議費	国際会議等の開催	24			
	計		24	計		0
	C. UN-HABITAT					
	費 目	使 途	金 額	費 目	使 途	金 額
	会議費	国際会議等の開催	17			
	計		17	計		0
	D. UNCRD					
	費 目	使 途	金 額	費 目	使 途	金 額
	会議費	国際会議等の開催	16			
	計		16	計		0

個別事業名： 国際機関が主催する会議の被災地における開催

支出先上位10者リスト

A. 支出先上位10者リスト(国際機関)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	APO	国際会議等の開催	24	—	—
2	UN－HABITAT	国際会議等の開催	17	—	—
3	UNCRD	国際会議等の開催	16	—	—
4	UNEP／IETC	国際会議等の開催	15	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					